

SDGsセミナー開催報告（概要）

行事名	SDGsセミナー 2019 #SDGsの視点で、プラスチック問題を考えよう		
主催者名	おおつ環境フォーラム・滋賀環境カウンセラー協会による共催		
期日（間）	令和 元年 11月 23日（土）13時30分～16時45分		
会場	大津市ふれあいプラザ 大会議室（浜大津明日都5F）		
参加者数	49人		
参加費	無料		
開催状況	<p>2つの団体の共催事業「SDGsセミナー2019」は、11月23日（土）午後13時半より、49名の参加をえて、森口セミナー実施代表の「SDGsが目指すこと」についての挨拶で始まった。第1部では、講師・藤田アニコーさんから、SDGsについての説明に続いて、知らない者同士が3人1組となってSDGsカードゲームを行った。このゲームでは、各組みごとに示された未来の目標を達成するために、与えられたお金・時間・自己満足度をどう使うかを話し合いながら、自らの行動が与える影響を考えつつ、環境・経済・社会のバランスをとるためにどうするかなど、仕組みとルールづくりを体験できた。会場は、和気藹藹とした雰囲気、誰もが楽しくSDGsへの理解を深められた。ここで藤田さんから、故郷ハンガリーやEUの脱プラスチック、脱ワンウェイ容器の市民生活が画像で紹介され、後半に繋がる話を聞くことができた。第2部では、6つの班が、3つのテーマについて話合うワークショップをした。最初に、話題提供として、まず、県保全再生課の奥田さんから「琵琶湖におけるマイクロプラスチックとプラスチックごみの実態把握調査について」の話を聞き、前向きで示唆に富んだ内容であり、マイクロプラスチックの現状を理解することができた。次に、滋賀環境カウンセラー協会の西村さんからも、プラスチックのマテリアルフローと3Rの話があった。そこでワークショップでは、3Rの「プラスチックのリデュース、リユース、リサイクル」の3つをテーマとして、各2班ずつ、プラスチック問題の解決に向けて話し合いをした。どの班も、参加者年齢構成も幅広く、立場と経験の違いがありながらも、誰もが自分の考えを発表し、このプラスチックを自分ごととしてとらえた深い議論を交わした。皆、時間が足りないと感じたようだった。最後に、竹内滋賀環境カウンセラー協会理事長より、SDGsの視点によるこのセミナーの意義のまとめの挨拶があった。全体として、時間配分やテーマ設定など反省点もあるが、有意義な時間を共有できた。</p>		
後援	滋賀県 大津市		
広報活動の方法と範囲	方法	チラシの配布、両団体HP、大津市広報誌や新聞5紙の告知板、関連環境団体のメールマガジン、インスタグラム・ラインなどソーシャルメディアなどを通じてのPR活動	範囲 県内全域 環境省（プラスチック・スマートキャンペーン参加）
報告者連絡先	住所	〒520-0862 大津市平津2-4-20-317	
	氏名	松村 順子 (TEL)077-572-7133 or 080-5338-7351	

# 開催風景写真

## 会場風景



### ★ SDGs カードゲーム講師

(循環型社会創造研究所代表)

藤田アニーコさん

### ★ 情報提供講師

(琵琶湖再生保全課)

奥田 一臣さん

(滋賀環境カウンセラー協会)

西村 保彦さん



## SDGs カードゲームのグループの様子



## ワークショップの風景

